

フッ素入り歯みがき剤の使用量

フッ素入り歯みがき剤を使うときには、小児ではフッ素の過剰摂取に注意が必要です。

ただわが国においては、フッ素の全身応用（水道水のフッ素添加など）は行われていないので、あまり神経質になる必要はありません。

（水道水のフッ素添加が行われている地域では、特に6歳未満では表のような使用量が厳しく適用されています。）

年齢	使用量	フッ素濃度
～2歳	切ったつめ程度の少量	500ppm、泡状であれば1,000ppm
3～5歳	5mm以下	500ppm、1,000ppm
6～14歳	1cm程度	1,000ppm、(1,500ppm)
15歳～	2cm程度	1,000ppm、1,500ppm